

剣道部女子優勝 2年ぶり5回目

平成18年度第58回長崎県高等学校総合体育大会



6月2日(金)長崎のかきどまり陸上競技場にて行われた総合開会式には本校から85名の選手が堂々の入場行進をしました。島原高校生は全12競技に参加し、日頃の努力の成果を存分に発揮して、優秀な成績をおさめました。

青き楓

島高だより
H18第2号
通巻第14号
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

剣道部女子

高総体優勝を達成して

主将 松浦美穂子

私たち剣道部女子は先月行われた高総体で優勝することができました。優勝できたのも、日々熱心に御指導くださった渡邊先生、保護者の皆さま、そして応援してくださった皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。昨年の悔しさをバネに、「捲土重来」を旨として優勝を目標に練習に励んできたので、優勝できたことは本当に嬉しいです。インターハイではチーム一丸となり、一戦一戦を大事に、そして自分たちの力を出し切れるようにがんばってきます。



ソフトテニス部男子

準優勝を胸に

主将 平川永扇

私たちは、この高総体で「三番手につないで勝つ」ということを目標に、一戦一戦チーム一丸となって試合に臨みました。準決勝の長崎南山との試合は三番勝負を勝ちきり、準決勝の長崎北との試合は大将が敗れたあとの三番勝負でファイナルゲームを勝って決勝に進むことができました。決勝の島原商業との試合は三番手までまわすことができず、負けてしまいました。あと一歩で優勝できたのにと悔しさが残り

高総体の主な成績

ましたが、この悔しさを忘れずにこれからの試合につなげていきたいと思えます。応援ありがとうございました。

陸上男子

400m

五位 田浦慎太郎

陸上女子

400mハードル

二位 石橋めぐみ

五位 大久保めぐみ

4×400mリレー

体操女子

五位

テニス男子

三位

ベスト8

個人 ダブルス 菅・野原組

個人 シングルス 菅祐一郎

個人 ベスト8 菅・野原組

個人 ベスト8 菅祐一郎



文化部の活躍

NHK杯放送コンテスト

放送部部长 岩永 愛

五月二十七日(土)、長崎ウエスレヤン大学で行われたNHK杯放送コンテスト中地区大会において、計十一人入賞。アナウンス部門五名、朗読部門三名が県大会に進みました。過去最高の成績を収めることができました。

六月十八日(日)、NHK長崎で行われた県大会ではアナウンス部門で岩永愛・福田あかり・森崎舞の三名が決勝進出を果たしました。これも過去最高の成績です。番組部門テレビドキュメント『共に生きる』(松本かおり・宮崎那子・長谷亜未・入江那奈の四名のチームの制作)が部門二位で県大会を通過。七月二十四日からNHKホールを中心に行われる全国大会に六年ぶり二度目の出場を果たす予定です。この大会で三年生は引退となりますが、今後の後輩の活躍に期待します。

教育実習が行われました

六月一日から二十一日にかけて本校では十一名の卒業生を実習生として受け入れました。実習の参加者から感想をいただきました。

教育実習を終えた今、振り返ってみると二週間が慣れないことばかりであったという間に過ぎてい



サッカー

ベスト8

- 60kg級 二位 原口真人
- 74kg級 二位 入江嘉朗
- 84kg級 三位 榎澤誠也
- 96kg級 二位 岩永義成
- 三位 森本 開
- 三位 廣瀬佳将

きました。忙しい状況の中でも、生徒に対する細やかな配慮を大切に、仕事をしていたらつしやる先生方の大変さを一部ではありますが体感することができました。そして何より、生徒たちの成長に関わる重要性を実感しました。私は生物を担当しましたが、「生物」という教科に興味関心を抱かせながら、生徒一人ひとりのことを考えていくということに毎日悩んでいました。

今回の教育実習で、実際の教師の仕事を通して、「教育の在り方」を学ぶことができたのが一番の収穫です。

指導いただいた先生方に感謝いたします。
(教育実習生 石橋賢昌/第55回生)

校長室から
柳川 伸一

例年になく激しい雨の降り続く今年の梅雨ですが、この雨が秋の实りをもたらしそうです。例えば、高校生活の三年間も将来の基盤づくりに向けての厳しい季節と言ってよいでしょう。「文武両道」学習と部活動の両立に向けて、日々精進し、自分の夢実現を目指す島高生に心からエールを贈ります。

さて、六月初めに行われた今年度の県高総体では、剣道女子の団体優勝を筆頭に、島高生は各種目で素晴らしい活躍を見せてくれました。普段見られない生徒達の様々な表情に感動を覚えた今年の県高総体でした。これを機に部活動から身を引く大部分の三年生諸君のこれまでの健闘を称えらるとともに、今後の進路実現に向けての頑張りをお待ちします。後を引き継ぐ一・二年生には先輩の思いをしっかり受け止めて活動してほしいものです。

この原稿を書いている今日は、一学期期末考査後の最初の休日、校内では部活動の賑やかな掛け声や歌声が響く中、教室で自学に励む三年生の姿が見られます。本号が発行されるころは、真夏の太陽が照りつけていることでしょう。若者達が一層輝く季節です。島高生の更なる飛躍が楽しみです。

